

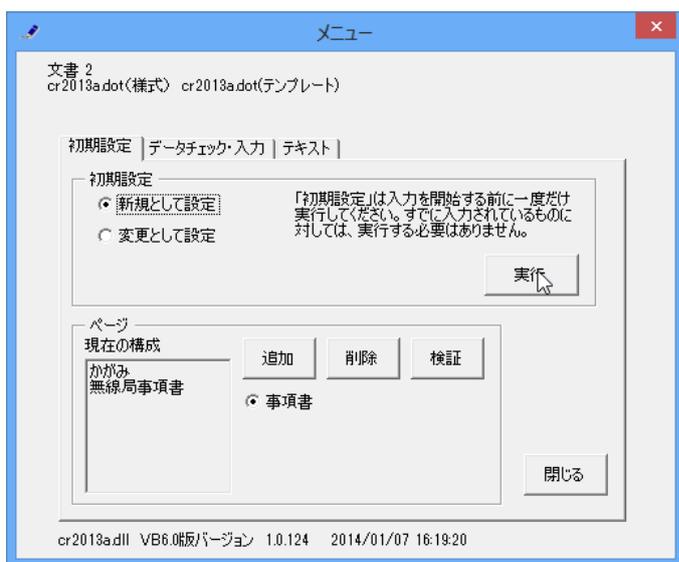
## cr2014a.dot の記載要領

### (1) 簡易無線様式の選択と初期設定。

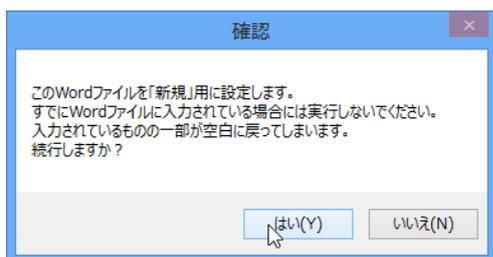
スタートメニュー（またはデスクトップ）の「電子申請サポートシステム」—「新規作成」フォルダに保存されている様式の cr2014a.dot を開きます。メニューの起動の仕方は、「各様式共通の記載要領」を参照してください。（文書中、画面上で「cr2013a」となっている箇所は「cr2014a」に読み替えてください）

### ● 「初期設定」タブ—「初期設定」

最初に宛先通信局を選択してから、新規（免許申請）か変更（変更申請）かを選択し「実行」ボタンをクリックします。再免許には利用できませんので、crmlsaimen2014a.dot を利用してください。



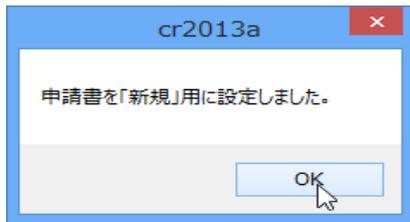
警告が表示されたら確認して「はい」ボタンをクリックします。



かがみ	
表題	「新規」のときは「免許申請書」に、「変更」のときは「変更申請書（届）」にプルダウンを選択します。
表題 2	「新規」のときは「を開設したいので、電波法第 6 条」に、「変更」のときは「を変更したいので無線局免許手続規則第 25 条」にプルダウンを選択します。「を変更したいので電波法施行規則第 43 条第 3 項」（住所、常置場所の変更）も選択することができます。
記入年月日	実行している日の年月日が入力されます。
事項書	
申請（届出）の区分	「新規」のときは「開設」、「変更」のときは「変更」がチェックされます。

無線局の種別コード	「CR」が指定されます。修正することはできません。
欠格事由	「無」がチェックされます。修正することはできません。
開設、継続開設又は変更を必要とする理由	「新規」のときは「無線局による事業・業務の開始・拡充」が、「変更」のときには「送受信装置の変更、取替、更新、撤去」が選ばれます。変更のときには、もっともふさわしい理由をプルダウンから選んでください。
無線局の目的コード	「CRA」が指定されます。修正することはできません。
通信事項コード	「CRA」が指定されます。修正することはできません。

設定が終わったら次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



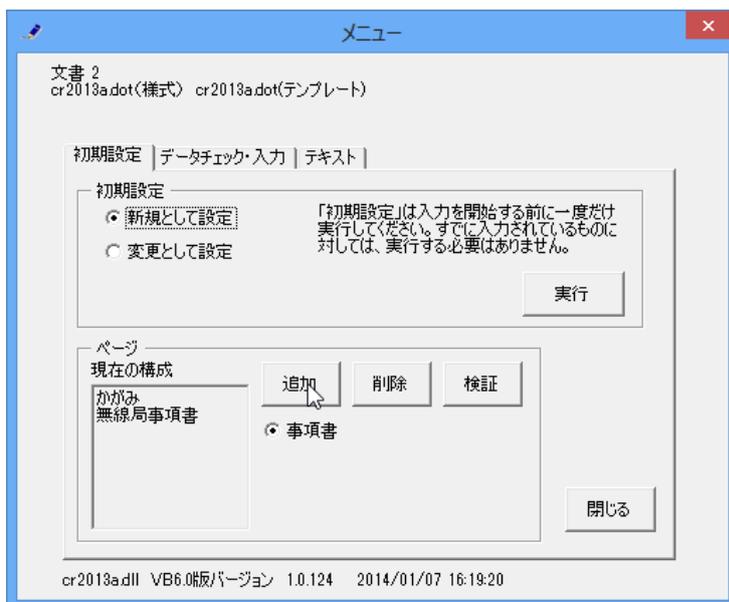
### ●「初期設定」タブー「ページ」フレーム

「ページ」フレームには、「現在の構成」として、「かがみ」に始まって、現在存在する「無線局事項書」がページ数分表示されています。

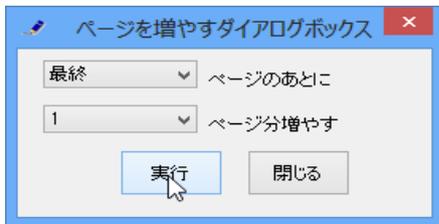
「追加」ボタンで無線局事項書のページを増やすことができます。「削除」ボタンで無線局事項書のページを減らすことができます。「検証」ボタンで現在の Word 文書のページ構成を取得しなおします。

### ●追加する

「追加」ボタンをクリックします。



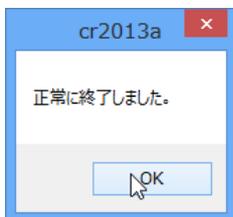
無線局事項書を増やす位置を「ページのあとに」で指定し、追加するページ数を「ページ分増やす」で指定し、「実行」ボタンをクリックします。



終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

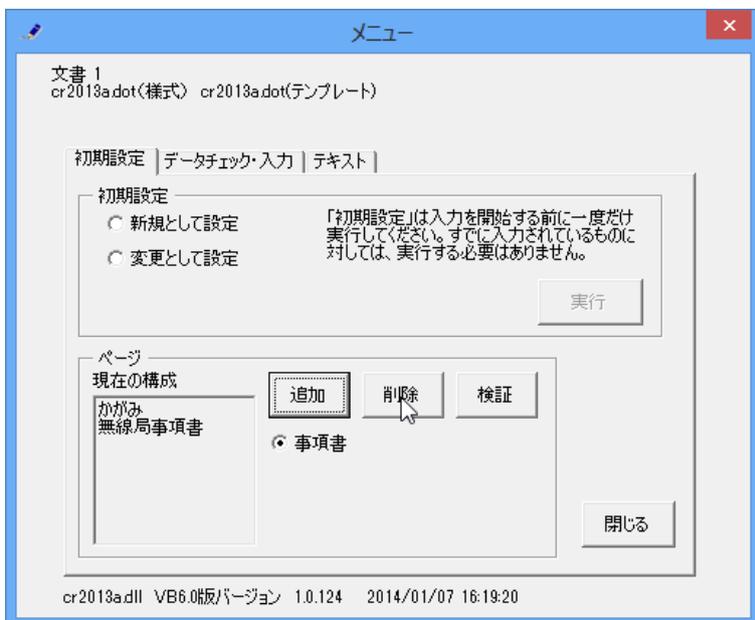


次のダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

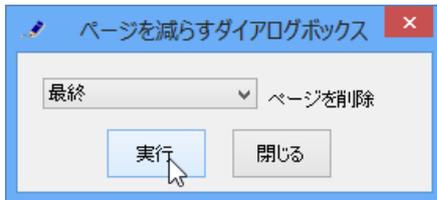


## ●削除する

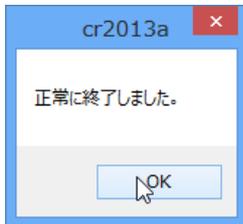
「削除」ボタンをクリックします。



無線局事項書を削除するページを「ページを削除」で指定し、「実行」ボタンをクリックします。ページの削除では、1 ページ分しか削除することはできません。



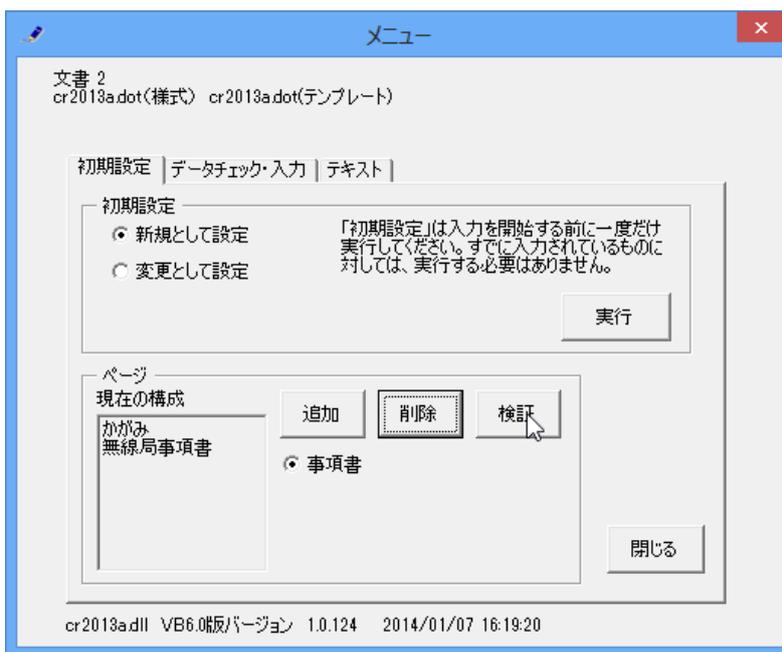
終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



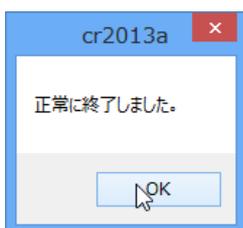
### ●検証する

「ページ構成」が現在の Word 文書とくいちがうと正しく動作できません。ページ構成を取得しなおすときには、「検証」ボタンをクリックします。

(通常はこの操作を行なう必要はありません)



終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



「検証」ボタンをクリックしてもページ構成が Word 文書と一致しないときは、陸上無線協会宛てにその Word 文書をお送りください。

## (2) かがみの作成

文書1 [互換モード] - Word

無線局 指定してください

平成 年 月 日

指定してください 殿

申請者 法人・団体・個人の別  
郵便番号  
住所フリガナ  
住所  
氏名フリガナ  
氏名  
代表者役職  
フリガナ  
代表者氏名  
電話番号

代理人  
郵便番号  
住所フリガナ  
住所  
氏名フリガナ  
氏名  
代表者役職  
フリガナ  
代表者氏名  
電話番号

復代理人  
郵便番号  
住所フリガナ  
住所  
氏名フリガナ  
氏名  
代表者役職  
フリガナ  
代表者氏名  
電話番号

下記の無線局 指定してください の規定により別紙の書類を添えて申請します。

記

① 無線局の種類及び局號	② 識別信号	③ 免許の番号	④ 免許の年月日	⑤ 備考
南関東無線局 局	A D			5W 局× 円= 円 4W 局× 円= 円 1W 局× 円= 円 合計 円 <input type="checkbox"/> 手数料免除

申請に関する連絡責任者 住所 氏名 所屬 電話番号 メールアドレス

無線局事項書 及び 工事設計書

※ 整理番号

1/2 ページ 1/1062 文字

11:39 2014/01/13

- ・復復代理人がある場合は、復代理人欄に復復代理人を記載して、復代理人を事項書「24 備考欄」に入力します。
- ・かがみの備考フリー入力欄には、変更の場合は「セット替え○局と株分け△局」、「再免を同時提出」などを入力します。
- ・かがみの「手数料免除」は、手数料が免除される国及び国に準ずる機関の場合にチェックします。
- ・識別信号 A には、アナログの呼出名称、D にはデジタルの識別符号（総務大臣から装置に付与された9ケタの番号）を入力します。複数ある場合には、連続するものは「～」でつなぎ、連続しないものは「、」（全角句点）で区切ります。
- ・識別信号の変更の場合は、かがみと無線局事項書及び工事設計書「26 備考」の変更前識別信号欄には（旧）識別信号を入力し、事項書には（新）識別信号を入力します。
- ・アナログ機からデジタル機に変更する場合は、かがみ「②識別信号」欄と無線局事項書及び工事設計書「26 備考」の変更前識別信号欄に変更前のアナログ機の識別信号を入力し、無線局事項書及び工事設計書「19 識別信号」欄は変更後の識別信号を入力してください。
- ・アナログ機からデュアル機へ変更する場合は、デジタル識別信号の変更を伴いますので、この場合には、かがみにもデジタル識別信号を入力してください。  
または、かがみ「②識別信号」欄と無線局事項書及び工事設計書「26 備考」の変更前識別信号欄に変更前のアナログ機の識別信号を入力し、無線局事項書及び工事設計書「19 識別信号」欄は変更後の識別信号を入力してください。
- ・変更の場合で、識別信号及び免許番号並びに免許の年月日が複数ある場合は「、」（全角句点）で区切って同一グループ数とし、相関関係がわかるようにします。ただし、免許の年月日がすべて同じである場合は、1

つ入力するだけでかまいません。

### (3) 事項書及び工事設計書の作成

無線局事項書及び工事設計書

10申請(届出)の区分、開談、変更、再免許、 20無線局の種別コード、OR、 30免許の番号、 40無線局の数、 50次格、理由、有、無、

60開談、継続開談又は変更を必要とする理由、 80希望する運用、許可時、日付指定、予備免許の日から 月 日の日、予備免許の日から 日 日の日、

70申請(届出)者名等、 法人の別、法人又は団体、 90工事達成の予定期日、日付指定、予備免許の日から 月 日の日、予備免許の日から 日 日の日、

100免許の年月日、平成 年 月 日、 110免許の有効期日、平成 年 月 日まで、

120希望する免許の有効期日、平成 年 月 日まで、

130最初の免許の日、 年 月 日、

140運用開始の日、免許の日、日付指定、予備免許の日から 月 日以内の日、免許の日から 月 日以内の日、

150無線設備の設置場所又は常置場所、 170無線局の目的コード、ORA、 180通信事項コード、

160移動範囲、 基本コード、付加コード、 190識別信号、A、D、

200通信の相手方、

210電波の型式並びに希望する周波数の範囲及び空中線電力、 A、MHz、 W、 D、

工事設計書(その1)  (検定合格機器又は適合表示無線設備を使用する場合に限る。)

220通信機、 ATIS番号、 検定番号、 技術基準適合証明番号、 製造番号、 230空中線、 基本コード、 付加コード、 備置機コード、 高さ(m)、 利得(dB)、

240附属装置、 250その他の工事設計、  法第3条に規定する条件に合致する、

260備考、

かがみに入力した申請者の情報を事項書に反映する

初期設定 データチェック・入力 | テキスト

データのコピー

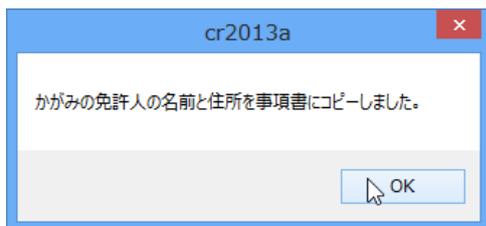
かがみの免許人の名前と住所を事項書にコピーする

事項書の1枚目の内容を2枚目以降にコピーする

実行

かがみに入力した申請者の情報を事項書に反映させることができます。申請者の「法人・団体・個人」の種別をプルダウンから選択してから、「データのコピー」フレームの「かがみの免許人の名前と住所を事項書にコピーする」をチェックしてから「実行」ボタンをクリックします。かがみの申請者の住所や氏名を、法人・団体・個人の種別によって、事項書の7欄「申請(届出)者名等」にコピーできます。

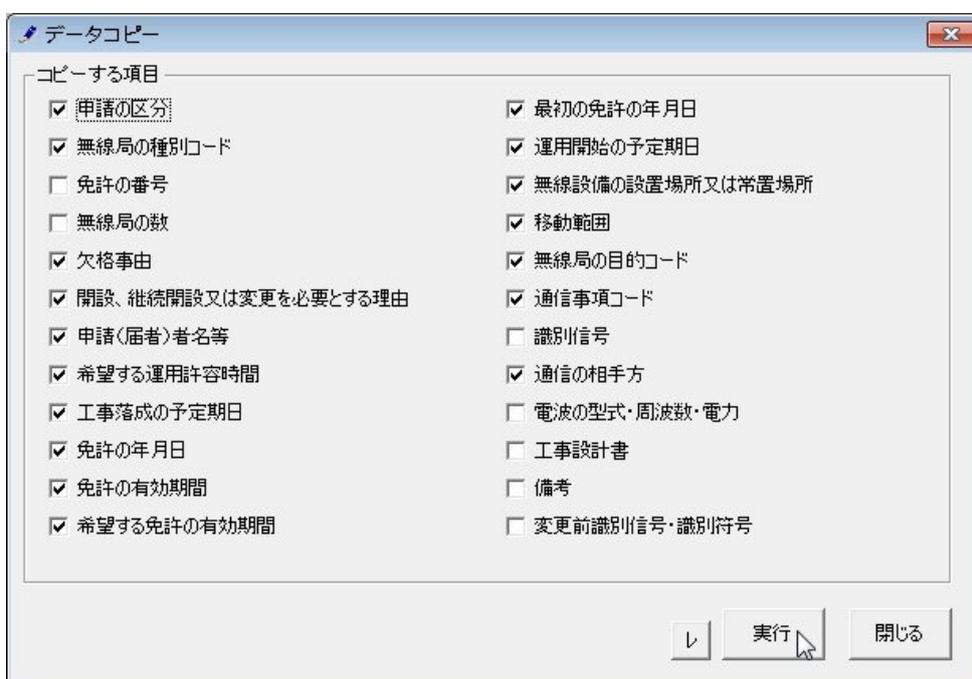
終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



事項書 1 枚目に入力した情報を 2 枚目以降に反映する

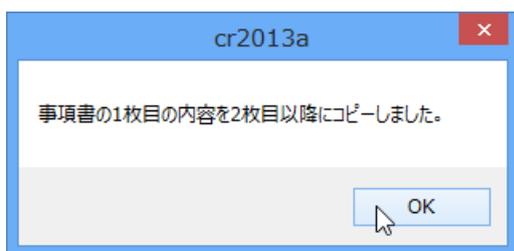
複数の事項書を入力するときは、最初に事項書の 1 枚目に入力してから、「データのコピー」フレームの「事項書 1 枚目の内容を 2 枚目以降にコピーする」をチェックしてから「実行」ボタンをクリックします。

次のダイアログボックスが表示されます。コピーしたい項目をチェックします。「レ」ボタンをクリックすると「すべてのチェックを解除」「すべてをチェック」が繰り返されます。



「実行」ボタンをクリックすると指定された項目がコピーされます。

終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

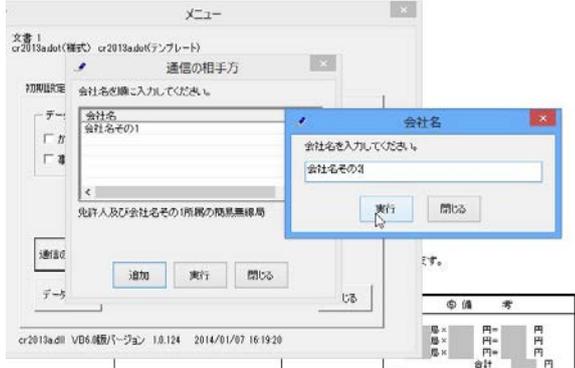


事項書の入力

1 欄 申請 (届出) の区分	「開設」か「変更」をチェックします。(再免には利用できません)
-----------------	---------------------------------

2 欄 無線局の種別コード	「CR」に固定されています。	
3 欄 免許の番号	「関 K 第 12345 号～関 K 第 12347 号」のように、免許番号が連続する場合は「～」でつなぎ、連続しないものは事項書を分割し別に作成します。「K」は半角大文字で入力し、数字は半角で入力します。	
4 欄 局数	局数を半角数字で入力します。	
5 欄 欠格事由	「無」をチェックします。	
6 欄 開設、継続開設又は変更を必要とする理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先頭のプルダウンは必須です。</li> <li>・変更の場合で変更事項が複数存在する場合は 2 番目以降から該当するものを選択します。説明しきれない場合は、最後のフリー入力欄に入力します。</li> </ul> <p>(注) アナログ機からデュアル機又はデジタル専用機への無線設備変更の場合は、「電波型式」、「周波数」、「識別信号」の変更は必ず発生します。また「空中線電力」の変更を伴う場合もありますので、該当する変更はすべて選択してください。選択漏れがある場合は、不備となりますのでご注意ください。</p>	
7 欄 申請（届出）者名等	法人・団体の場合	
	法人・団体・個人の別	法人をチェックします。
	法人又は団体フリガナ	申請者の名称フリガナを全角で入力します。
	法人又は団体名	申請者の名称を全角で入力します。
	団体の場合	
	法人・団体・個人の別	団体をチェックします。
	法人又は団体フリガナ	申請者の名称フリガナを全角で入力します。
	法人又は団体名	申請者の名称を全角で入力します。
	個人又は代表者名の姓フリガナ	申請者の姓のフリガナを全角で入力します。
	個人又は代表者名の名フリガナ	申請者の名のフリガナを全角で入力します。
	個人又は代表者名の姓	申請者の姓を全角で入力します。
	個人又は代表者名の名	申請者の名を全角で入力します。
	個人の場合	
	法人・団体・個人の別	個人をチェックします。
	個人又は代表者名の姓フリガナ	申請者の姓のフリガナを全角で入力します。
	個人又は代表者名の名フリガナ	申請者の名のフリガナを全角で入力します。
	個人又は代表者名の姓	申請者の姓を全角で入力します。
	個人又は代表者名の名	申請者の名を全角で入力します。
	その他の欄	
	住所フリガナ	住所のフリガナを全角カタカナで入力します。
都道府県市区町村コー	都道府県市区町村コードを半角数字で入力します。	

	ド	(5桁)																						
	住所	住所を全角で入力します。																						
	郵便番号	郵便番号を半角数字で「xxx-xxxx」形式で入力します。																						
	電話番号	数字とハイフンで電話番号を入力します。(数字のみでも可)																						
8 欄 希望する運用許容時間	入力する必要はありません。入力する場合は「常時」と入力してください。																							
9 欄 工事落成の予定期日	入力する必要はありません。																							
10 欄 免許の年月日	開設の場合は入力する必要はありません。変更の場合は必須です。入力する場合は年月日を半角数字で入力します。																							
11 欄 免許の有効期間	開設の場合は入力する必要はありません。変更の場合は必須です。入力する場合は年月日を半角数字で入力します。																							
12 欄 希望する有効期間	増設などの場合に既免許局と終期を統一したい場合などに入力します。その場合は 24 欄備考のプルダウンから「終期統一のため有効期間を希望します」も選択します。入力する場合は年月日を半角数字で入力します。																							
13 欄 最初の免許の年月日	入力する必要はありません。入力する場合は「昭和」「60」年「2」月「1」日のように、元号をプルダウンから選択し、年月日を半角数字で入力します。																							
14 欄 運用開始の予定期日	入力する必要はありません。入力する場合は「免許の日」をチェックします。																							
15 欄 設置場所又は常置場所	<p>・都道府県—市区町村コードは、(財)地方自治情報センター (LASDEC) <a href="https://www.lasdec.or.jp/cms/1.0.14.html">https://www.lasdec.or.jp/cms/1.0.14.html</a> が定める団体コード 6 ケタの内の上位 5 桁です。</p> <p>・住所を全角で入力します。住所は、都道府県から入力し、番地などをつなげるときは「—」(全角ダッシュ)を使います。〇〇ビル〇階(〇F とせず「階」と記入)は登記されている場合のみ記載します。住所とビル名との間には全角スペースを入れてください。</p>																							
16 欄 移動範囲	<p>上下段があります。基本コードはアルファベットのコードをプルダウンから選択するか、県を表す数字コードをフリー入力欄に入力します。</p> <table border="1"> <tr><td>A</td><td>関東総合通信局管内</td></tr> <tr><td>B</td><td>信越総合通信局管内</td></tr> <tr><td>C</td><td>東海総合通信局管内</td></tr> <tr><td>D</td><td>北陸総合通信局管内</td></tr> <tr><td>E</td><td>近畿総合通信局管内</td></tr> <tr><td>F</td><td>中国総合通信局管内</td></tr> <tr><td>G</td><td>四国総合通信局管内</td></tr> <tr><td>H</td><td>九州総合通信局管内</td></tr> <tr><td>I</td><td>東北総合通信局管内</td></tr> <tr><td>J</td><td>北海道総合通信局管内</td></tr> <tr><td>O</td><td>沖縄総合通信局管内</td></tr> </table>		A	関東総合通信局管内	B	信越総合通信局管内	C	東海総合通信局管内	D	北陸総合通信局管内	E	近畿総合通信局管内	F	中国総合通信局管内	G	四国総合通信局管内	H	九州総合通信局管内	I	東北総合通信局管内	J	北海道総合通信局管内	O	沖縄総合通信局管内
A	関東総合通信局管内																							
B	信越総合通信局管内																							
C	東海総合通信局管内																							
D	北陸総合通信局管内																							
E	近畿総合通信局管内																							
F	中国総合通信局管内																							
G	四国総合通信局管内																							
H	九州総合通信局管内																							
I	東北総合通信局管内																							
J	北海道総合通信局管内																							
O	沖縄総合通信局管内																							

	<table border="1"> <tr><td>N</td><td>全国</td></tr> <tr><td>M</td><td>通信の相手方の無線ゾーン内</td></tr> <tr><td>P</td><td>常置場所のある市区町村</td></tr> <tr><td>Q</td><td>当該事業所の事業区域内</td></tr> <tr><td>R</td><td>免許人の業務区域内</td></tr> <tr><td>T</td><td>免許人及び業務委託先の事業者の業務区域内</td></tr> <tr><td>Y</td><td>構内</td></tr> <tr><td>U</td><td>全国及び日本周辺海域</td></tr> </table> <p>付加コードもアルファベットのコードをプルダウンから選択します。</p> <table border="1"> <tr><td>/</td><td>、その周辺</td></tr> <tr><td>P</td><td>、周辺海域</td></tr> <tr><td>Q</td><td>、その周辺、周辺海域</td></tr> </table>	N	全国	M	通信の相手方の無線ゾーン内	P	常置場所のある市区町村	Q	当該事業所の事業区域内	R	免許人の業務区域内	T	免許人及び業務委託先の事業者の業務区域内	Y	構内	U	全国及び日本周辺海域	/	、その周辺	P	、周辺海域	Q	、その周辺、周辺海域	
N	全国																							
M	通信の相手方の無線ゾーン内																							
P	常置場所のある市区町村																							
Q	当該事業所の事業区域内																							
R	免許人の業務区域内																							
T	免許人及び業務委託先の事業者の業務区域内																							
Y	構内																							
U	全国及び日本周辺海域																							
/	、その周辺																							
P	、周辺海域																							
Q	、その周辺、周辺海域																							
17 欄 無線局の目的コード	「CRA」に固定されています。																							
18 欄 通信事項コード	「CRA」に固定されています。																							
19 欄 識別信号	<p>A には呼出名称を「むせんき 1」のように数字部だけ半角数字で入力します。デジタル専用の場合は、A には入力しません。連続するものは「～」でつないで入力します。「むせんき 1～むせんき 3」でも「むせんき 1～3」でもかいません。</p> <p>D にはデジタルの識別符号（総務大臣から装置に付与された 9 ケタの番号）を半角数字で入力します。アナログ専用の場合には、D には入力しません。連続するものは「～」でつないで入力します。</p> <p>デュアルの場合には、A と D の両方に入力します。</p> <p>識別信号・識別符号の変更の場合には、変更後の識別信号や識別符号を入力してください。</p>																							
20 欄 通信の相手方	<p>業務の相互の連絡協定をした異免許人を通信の相手方とする場合は、フリー入力欄に「○○所属の簡易無線局」と入力します。（別途、異免許人間通信同意書が必要です）</p> <p>メニューの「通信の相手方」ボタンをクリックすると次のダイアログボックスが表示されます。</p>  <p>「免許人及び●●所属の簡易無線局」「免許人、●●及び●●所属の簡易無線局」のように入力するとき「追加」ボタンで入力し、「実行」ボタンをクリックする</p>																							

とすべての事項書の「通信の相手方」欄に入力されます。

21 欄 電波の型式並びに周波数の範囲及び空中線電力

・上段 A にはアナログの周波数を、下段 D にはデジタルの周波数を入力します。空中線電力はプルダウンから選択します。

・上段 A

占有周波数帯幅	「8k50」（400MHz の場合）、「16k0」（150MHz の場合）から選択します。電波型式で F3E/F2FD の複数を希望する場合のみ選択してください。	
電波型式	「F3E（音声）」、「F3E（音声）/F2D（データ）」から選択します。	
周波数	1 番目プルダウン	400MHz×8 個、小エリア 18CH1 個、150MHz×4 個から選択します。
	2 番目プルダウン	小エリア 4 個
	3 番目プルダウン	400MHz×8 個
	4 番目プルダウン	400MHz 5CH 用 7 個
	5 番目フリー入力	1 波の場合に MHz のところに入力します。
	6 番目フリー入力	自由に入力できますが、できるだけ使わないようにしてください。

・下段 D

占有周波数帯幅 および電波型式	デジタルの場合には、電波型式のすべてに占有周波数帯幅を記載することになっているため、占有周波数帯幅と電波型式がセットになっています。
周波数	

	<table border="1" data-bbox="715 107 1460 407"> <tr> <td data-bbox="715 107 970 210">1 番目プルダウン</td> <td data-bbox="970 107 1460 210">「400MHz帯 65 波」「150MHz帯 19 波」から選択します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="715 210 970 309">2 番目プルダウン</td> <td data-bbox="970 210 1460 309">「150MHz帯 9 波」(F1D データ専用波) のとき選択してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="715 309 970 407">3 番目フリー入力</td> <td data-bbox="970 309 1460 407">自由に入力できますが、できるだけ使わないようにしてください。</td> </tr> </table> <p data-bbox="512 562 1481 640">(注 1) 希望できる周波数のチャンネル数は、実際に発射可能な数であり、技適認証の周波数の範囲ではありません。</p> <p data-bbox="512 658 1481 835">(注 2) 電波型式は、技適認証の条件ではなく、実際に使用するものを入力します。また、F1D (デジタルの場合) や F2D (アナログの場合) を希望するときは、24 欄付属装置にもデータ伝送付加装置のコード「D」を選択します。(F1C、F1F の使用はほとんどありません)</p>	1 番目プルダウン	「400MHz帯 65 波」「150MHz帯 19 波」から選択します。	2 番目プルダウン	「150MHz帯 9 波」(F1D データ専用波) のとき選択してください。	3 番目フリー入力	自由に入力できますが、できるだけ使わないようにしてください。
1 番目プルダウン	「400MHz帯 65 波」「150MHz帯 19 波」から選択します。						
2 番目プルダウン	「150MHz帯 9 波」(F1D データ専用波) のとき選択してください。						
3 番目フリー入力	自由に入力できますが、できるだけ使わないようにしてください。						
工事設計書							
22 欄 送信機	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ATIS 番号は、アナログ機に付与された 12 ケタの番号です。デジタル機には存在しません。連続するものは「～」でつないで入力します。</li> <li>• 検定番号は、古い技術基準制度で製造されたものであり、簡易無線は「C」で始まる番号です。</li> <li>• 技術基準適合証明番号欄には、技術基準適合証明番号か工事設計認証番号を入力します。</li> <li>• A にはアナログ機の技術基準適合証明番号または工事設計認証番号を入力します。</li> <li>• D にはデジタルの技術基準適合証明番号または工事設計認証番号を入力します。</li> </ul>						
23 欄 空中線	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 固定据え置きタイプの場合にのみ「高さ (m)」にアンテナの地上高を入力します。移動するタイプ (車載、携帯型) では入力しません。</li> </ul>						

<p>24 欄 附属装置</p>	<p>・上段（使用するものを記入します）</p> <table border="1" data-bbox="497 163 1477 456"> <tr> <td>左</td> <td>トーン SQ のコード「S」を選択し、記載部にトーン周波数を入力します。</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>デジタルコード SQ のコード「S」を選択し、記載部に SQ 番号を入力します。</td> </tr> <tr> <td>右</td> <td>データ伝送付加装置のコード「D」を選択します。記載部は入力しません。（デジタル（デュアル機）は「D」選択します）</td> </tr> </table> <p>・下段（使用する場合記入します）</p> <table border="1" data-bbox="497 551 1477 698"> <tr> <td>左</td> <td>連絡線のコード「OWL」を選択します。記載部は入力しません。</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>使用しません。</td> </tr> <tr> <td>右</td> <td>自由に入力できます。</td> </tr> </table>	左	トーン SQ のコード「S」を選択し、記載部にトーン周波数を入力します。	中	デジタルコード SQ のコード「S」を選択し、記載部に SQ 番号を入力します。	右	データ伝送付加装置のコード「D」を選択します。記載部は入力しません。（デジタル（デュアル機）は「D」選択します）	左	連絡線のコード「OWL」を選択します。記載部は入力しません。	中	使用しません。	右	自由に入力できます。								
左	トーン SQ のコード「S」を選択し、記載部にトーン周波数を入力します。																				
中	デジタルコード SQ のコード「S」を選択し、記載部に SQ 番号を入力します。																				
右	データ伝送付加装置のコード「D」を選択します。記載部は入力しません。（デジタル（デュアル機）は「D」選択します）																				
左	連絡線のコード「OWL」を選択します。記載部は入力しません。																				
中	使用しません。																				
右	自由に入力できます。																				
<p>25 欄 その他の工事設計</p>	<p>「法第 3 条に規定する条件に合致する」をチェックします。</p>																				
<p>26 欄 備考</p>	<table border="1" data-bbox="469 913 1477 1742"> <tr> <td>1 番目フリー入力</td> <td>自由に入力することができます。全角文字で入力してください。</td> </tr> <tr> <td>2 番目プルダウン</td> <td>「業務の都合により全国移動を希望します。」「終期統一のため免許の有効期間を希望します。」から選択します。</td> </tr> <tr> <td>3 番目プルダウン</td> <td>「業務の都合により全国移動を希望します。」「終期統一のため免許の有効期間を希望します。」から選択します。</td> </tr> <tr> <td>4 番目プルダウン</td> <td>「データ伝送をします。」を選択することができます。</td> </tr> <tr> <td>5 番目プルダウン</td> <td>「旧スプリアス」「新スプリアス」から選択することができます。（注 1、注 2）</td> </tr> <tr> <td>6 番目プルダウン</td> <td>「再免提出期限切れによる廃止新設」を選択することができます。</td> </tr> <tr> <td>7 番目プルダウン</td> <td>「旧免許人名の局を廃止して新設」を選択することができます。</td> </tr> <tr> <td>8 番目プルダウン</td> <td>「株分け」を選択することができます。</td> </tr> <tr> <td>9 番目プルダウン</td> <td>「株寄せ」を選択することができます。</td> </tr> <tr> <td>10 番目プルダウン</td> <td>「工事設計書には変更がないので記載を省略」を選択することができます。（注 2）</td> </tr> </table> <p>（注1） 新スプリアス又は旧スプリアスは記載が必須です。</p> <p>（注2） 「工事設計書には変更がないので記載を省略」を選択した場合は、工事設計書の記載があっても無視されます。また新旧スプリアスの記載は不要となり記載されていても無視されます。</p>	1 番目フリー入力	自由に入力することができます。全角文字で入力してください。	2 番目プルダウン	「業務の都合により全国移動を希望します。」「終期統一のため免許の有効期間を希望します。」から選択します。	3 番目プルダウン	「業務の都合により全国移動を希望します。」「終期統一のため免許の有効期間を希望します。」から選択します。	4 番目プルダウン	「データ伝送をします。」を選択することができます。	5 番目プルダウン	「旧スプリアス」「新スプリアス」から選択することができます。（注 1、注 2）	6 番目プルダウン	「再免提出期限切れによる廃止新設」を選択することができます。	7 番目プルダウン	「旧免許人名の局を廃止して新設」を選択することができます。	8 番目プルダウン	「株分け」を選択することができます。	9 番目プルダウン	「株寄せ」を選択することができます。	10 番目プルダウン	「工事設計書には変更がないので記載を省略」を選択することができます。（注 2）
1 番目フリー入力	自由に入力することができます。全角文字で入力してください。																				
2 番目プルダウン	「業務の都合により全国移動を希望します。」「終期統一のため免許の有効期間を希望します。」から選択します。																				
3 番目プルダウン	「業務の都合により全国移動を希望します。」「終期統一のため免許の有効期間を希望します。」から選択します。																				
4 番目プルダウン	「データ伝送をします。」を選択することができます。																				
5 番目プルダウン	「旧スプリアス」「新スプリアス」から選択することができます。（注 1、注 2）																				
6 番目プルダウン	「再免提出期限切れによる廃止新設」を選択することができます。																				
7 番目プルダウン	「旧免許人名の局を廃止して新設」を選択することができます。																				
8 番目プルダウン	「株分け」を選択することができます。																				
9 番目プルダウン	「株寄せ」を選択することができます。																				
10 番目プルダウン	「工事設計書には変更がないので記載を省略」を選択することができます。（注 2）																				

変更前識別信号 A	識別信号の変更の場合には、変更前の識別信号を入力してください。
変更前識別信号 D	識別信号の変更の場合には、変更前の識別信号を入力してください。

アナログ機からアナログ機への識別信号の変更の場合には、かがみに（旧）識別信号を入力し、事項書の 26 備考欄の変更前識別信号 A 欄にも（旧）識別信号を入力し、事項書の 19 識別信号 A 欄には（新）識別信号を入力してください。

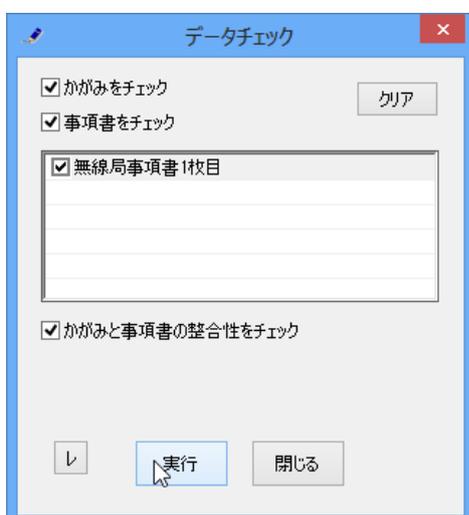
アナログ機からデジタル機への変更の場合には、かがみに（旧）識別信号を入力し、事項書の 26 備考欄の変更前識別信号 A 欄にも（旧）識別信号を入力し、事項書の 19 識別信号 A 欄は空欄にし、識別信号 D 欄に（新）識別信号を入力してください。

アナログ機からデュアル機への変更の場合には、かがみに（旧）識別信号を入力し、事項書の 26 備考欄の変更前識別信号 A 欄に（旧）識別信号を入力し、変更前の識別信号 D 欄は空欄にし、事項書の 19 識別信号 A 欄に（新）識別信号を入力し、識別信号 D 欄に（新）識別信号を入力してください。

デュアル機で識別信号のみ変更する場合には、かがみに（旧）識別信号と（現）識別信号を入力し、事項書の 26 備考欄の変更前識別信号 A 欄に（旧）識別信号を、変更前の識別信号 D 欄に（現）識別信号を入力し、事項書の 19 識別信号 A 欄に（新）識別信号を入力し、識別信号 D 欄に（現）識別信号を入力してください。

#### (4) データチェック

かがみと事項書の入力完了したら、データチェックを実行してください。記載ミスを一時的にチェックし、ミスがあればメッセージが出ます。



データチェックが完了したら、名前を付けて保存し、陸上無線協会へのメールに保存した Word 文書を添付してお送りください。